

理想の大学院生活を送るために

～授業面・研究面・生活面にわたるバランスとメリハリを～

東京科学大学 物質理工学院 材料系
材料コース 矢野・岸研究室 修士一年

畠山 直也



自己紹介

はたけやま なおや
畠山 直也

所属・学年

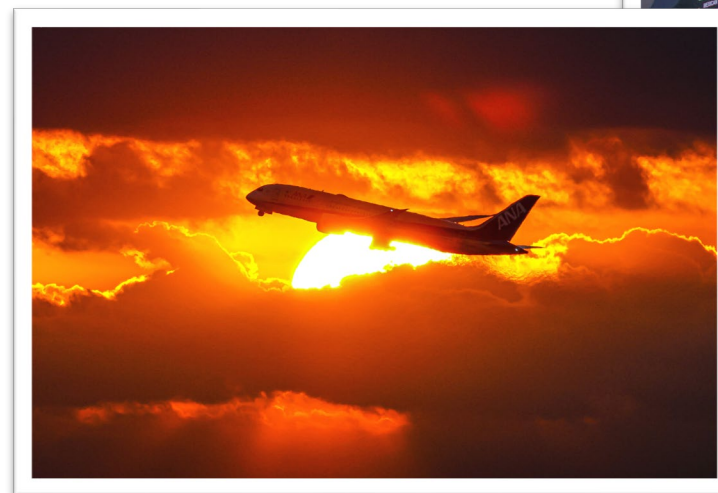
物質理工学院 材料系 材料コース
矢野・岸研究室 修士1年

研究室での取り組み

ガラスの研究をしています！
1500°Cでガラスを熔融したり
TSUBAME4.0で計算をしています

趣味

カメラで写真撮ってます
朝焼けの飛行機と渋谷の夜景です



逆算し、先を見通して バランスとメリハリを持った行動を

- 研究の進め方や授業の取り方を自分の裁量で決定
 - 目先の予定だけでなく中長期的な予定も考慮して計画を立てよう
- 研究だけでなく将来を見据えて身の回りにも目を向けよう
 - 大学院は社会に出る前の最後の準備期間

授業面・研究面・生活面の三点に分けてお伝えします

修了のために必須でありながら無計画な履修は研究の妨げにも

- 実験操作をしたいときに授業があることで計画の変更の可能性
- 学会や出張前の大量履修は準備に影響を与える可能性

制約のある研究のための時間を確保できるような履修を心がけよう

例) 24h+8hで操作が必要な場合

月	火	水	木	金
操作	操作 3-4限	1-4限	1-2限	3-4限
空き時間は多いが目的の操作はできない				

研究
報告会

授業

上記の履修の仕方では週に1回しか作業できない

自分の修了に必要な単位の“数”と“種類”を良く調べる

- 教養科目群（文系教養科目・アントレプレナーシップ科目）の履修も忘れずに
- 専門科目群では、コース外の科目でも自分のコースに読み替えできるものも存在

研究に集中するあまり修了要件の漏れに気を付けよう

修士一年次のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1Q: 5単位		2Q: 2単位		夏季休業		3Q: 3単位+TA		4Q: 0単位		春季休業	
研究テーマ決定		準備 → 外部施設測定へ		準備 → 国際学会参加		準備 → 外部施設測定へ		準備 → 中間発表		インターン(2週間)	

研究テーマ決定まで時間があつたため多めに履修

外部施設測定と国際学会への準備のため授業は少なく

夏季休業中に学会参加と二回目の外部施設測定の準備

実験TAを含め4単位履修
就活前に多く履修

就活に備えて履修は無し
インターンに参加

- 学部時代に7単位取得済みだったので余裕を持った履修計画に（必要単位の残りは2単位）
- 忙しい時期に備えて履修できる時に多めに履修

自分が探究したいことから逆算して行動する

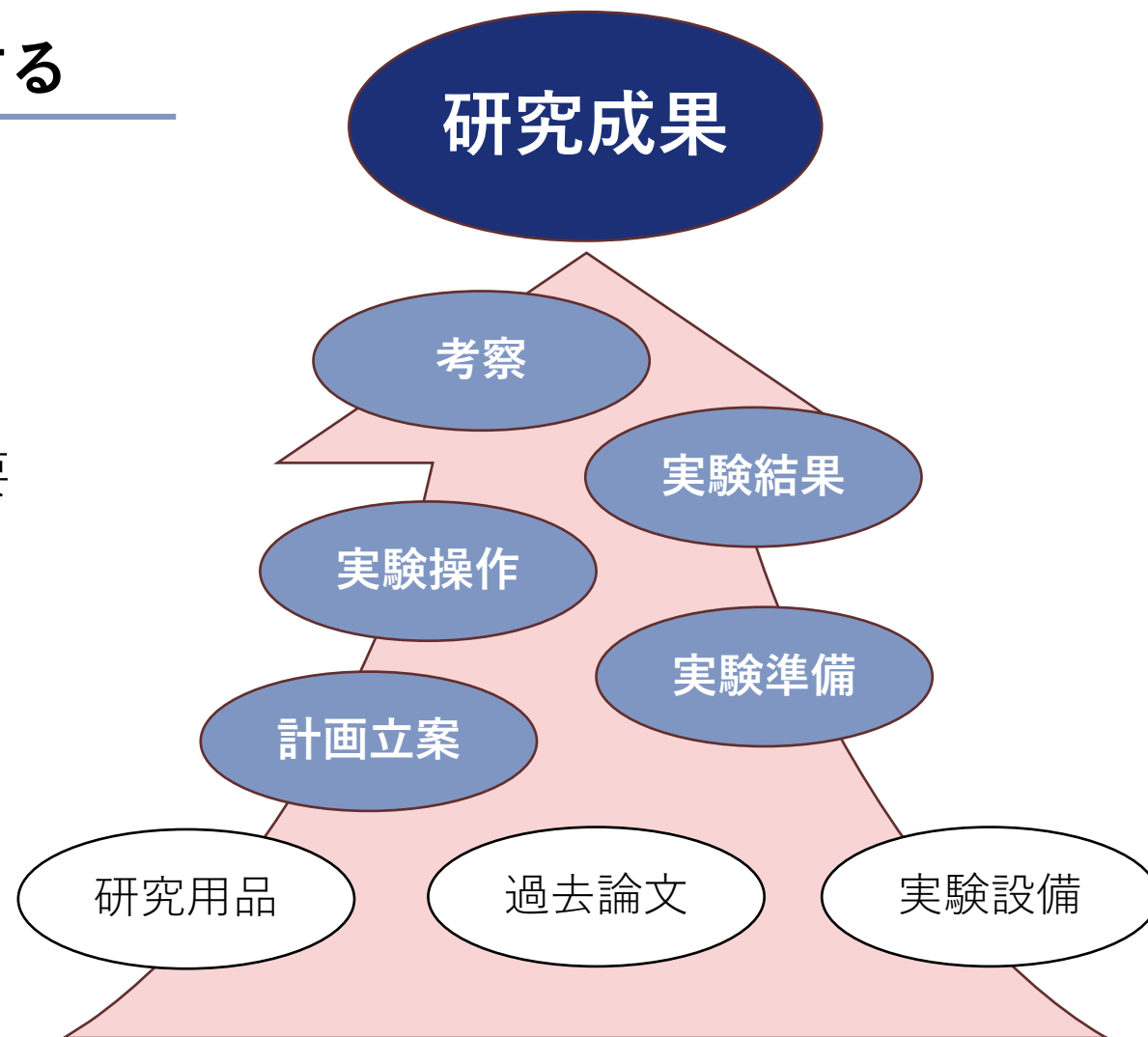
- 必要な知識や研究用品、設備は何が必要か
- 過去論文ではどんな研究がされているのか
- どのくらいの期間で結果が出てきそうか
- 実験系でない場合でも逆算して準備するのは重要

先輩や先生に訊いてみるのも重要だが

最後に判断をするのは自分

研究の軌道修正は随時行っていく

- 予定外の出来事に迅速に対処しよう
- 結果のこまめな確認が重要



必要なものを初めから見通して逆算



外部施設に測定に行く時のスケジュール

大型放射光施設Spring-8での測定

測定まで	事務手続き	外部への加工依頼	実験サンプル準備
3か月	マシンタイムの採択連絡が来る	測必要な治具の設計相談を開始	サンプル作製に必要な試薬を見積もり、発注
2か月	詳細の日付が連絡される 施設への来所手続き	完成した設計をもとに製作依頼	試薬の到着 予察用のサンプル作製
1か月	施設に持ち込む物品の事前申請 配送する持ち物チェック	納品された治具の確認・試用	予察並びに本番用サンプル作製
2週間～ 直前	荷物の事前配送 手持ち荷物の分担		予備の本番用サンプルの作製 本番用サンプルの事前評価

- 外部施設で実験ができることが決定した直後に動き出さないと間に合わないことも
- 普段の研究に加えての準備となるので、逆算して見通しを立てたり隙間時間の有効活用が重要

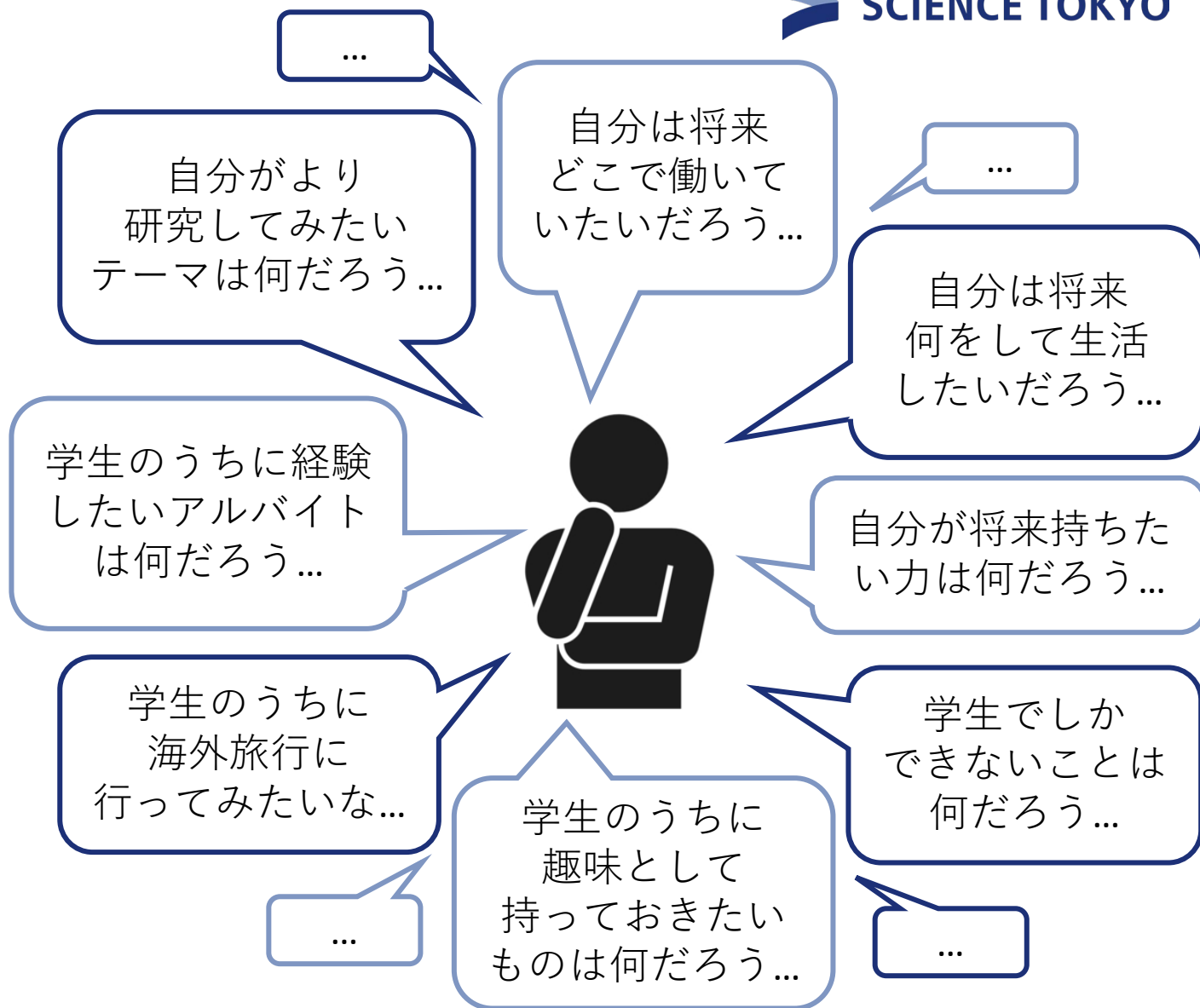
自分の将来について考えつくす

- 何事にも全力で取り組むことで自分の進みたい道が見えてくる
Ex) 研究・アルバイト・趣味
- キャリアプラン・ライフプランの双方から将来を描いてみる

納得して進路選択ができるように

学生生活最後の時間を謳歌する

- 研究室生活は忙しいとはいえ社会人よりは融通が利くことも多い
- 大学の博物館パートナーシップなど学生特典を利用する



小さなことでも深掘りして考えてみる

まとめ

授業面

- 制約のある研究のための時間を確保できるような履修を心がけよう
- 研究に集中するあまり修了要件の漏れに気を付けよう

研究面

- 自分が探究したいことから逆算して行動しよう
- 結果を踏まえて軌道修正は随時行っていこう

生活面

- 自分の将来についてよく考え納得できる選択をしよう

逆算し、先を見通してバランスとメリハリを持って行動しよう

これまで真面目に話をしてきましたが

時間を見つけて息抜きを忘れずに

やりたいことでも没頭のし過ぎは体に毒です

睡眠・運動・食事を意識してよく休息も取りましょう

“やるとき”と“休むとき”のバランスが重要です

**皆様が東京科学大学大学院で理想の
大学院生活を送ることを期待しています**

ご清聴ありがとうございました